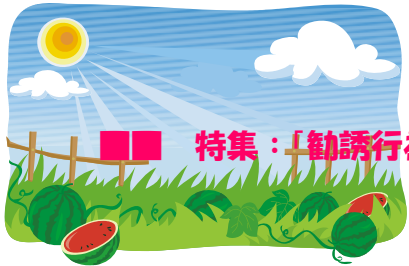


# 学生相談室だより

2009年8・9月合併号



■ ■ 特集：「勧誘行為についてのアンケート」の集計結果と  
「カルト特集」の感想について ■ ■

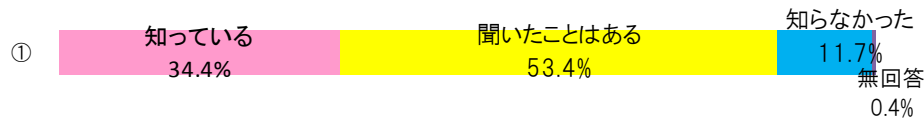
「カルトに注意！」って言われても、「自分には関係ない」と思っている方、結構多いのではないのでしょうか。意外とカルトは皆さんの身近な所に潜んでいるのです。

次のアンケート結果を御覧ください。（回答数 479 名）

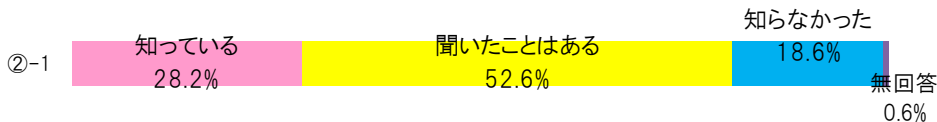
カルト：【極端な思想を持ち、個人の人格を破壊し、権利と自由を侵害、傷つける団体】

## ----- 「勧誘行為についてのアンケート」の集計結果 -----

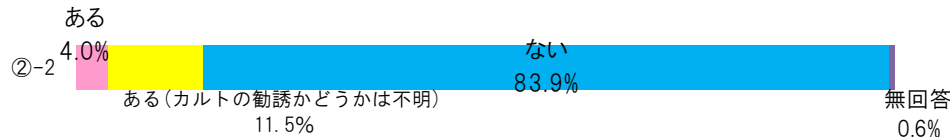
① 岡山県内の大学でもカルトによる勧誘が行われている事を知っていますか？



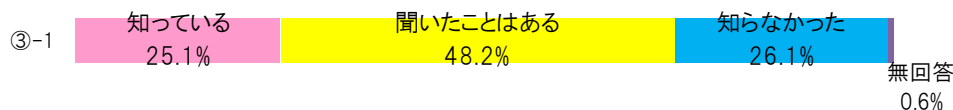
② スポーツ、音楽、踊り、ボランティア、○○を考える会、料理、ゲームなどのサークルに誘うことで、カルトに勧誘する事を知っていますか？



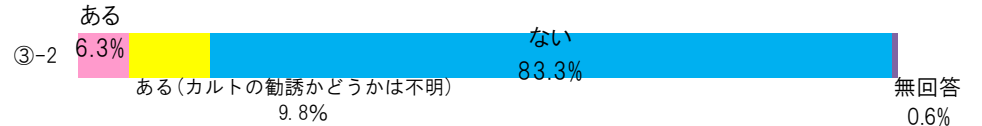
実際にそのような勧誘をされた事がありますか？



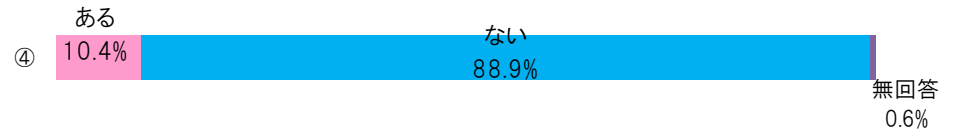
③ カルトが街中で声をかけたり、部屋を訪ねてきてアンケート・ボランティア・手相・お祈り・○○についての勉強などを口実に、勧誘する事を知っていますか？



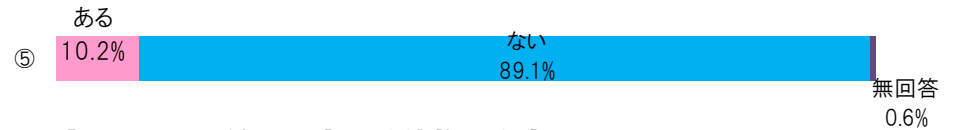
実際にそのような勧誘をされた事がありますか？



④ 友達や知り合いからカルトの勧誘を受けたと聞かされたり、相談された事がありますか？



⑤ 宗教がどうかに関わらず、今までに変な勧誘、怪しい勧誘、しつこい勧誘、不快な勧誘を受けた事がありますか？



### 「ある」と回答した方の具体的な内容

- ◆ 2人組のおばさんがアパートに来て、友人のことを聞き出そうとしたり、よくわからない宗教の話が聞かされた
- ◆ 青少年の意識調査アンケートというものをさせられそうになった。
- ◆ 体で凝っているところがあるかと聞かれた（2人組の女）
- ◆ 家に二人連れで来て、聖書をおしつけられた。
- ◆ 入学式のときに聖書を渡された。
- ◆ 電話で昔の友人がしつこい勧誘をしてきた。
- ◆ 人を待っている時に基督教の人に話しかけられ、断りながらも人待ちで場所を動けなかったので何度も話しかけられた。卵をもらいかけた。
- ◆ 岡山駅で「バーベキューするので行きませんか？」と基督教っぽい人達に誘われた。
- ◆ 社会について語り合おうというような主旨の勧誘をされた。
- ◆ 宗教関係の話で早朝に祈りがあるので教会に来るように勧誘された。
- ◆ 運動公園で変な宗教団体が迫ってきた。

アンケートにご協力いただいた皆さん、有難うございました！

岡山大学の学生も多数、カルトからの勧誘を受けています！  
夏合宿で、初めて宗教の団体である事が明かされる場合もあります。  
気づいた時に辞められる様に、カルトに関する知識を持ってください。

## 6月臨時特集号「カルト特集」に寄せられた感想です！

「摂理人」としての生活。綺麗で重要な事もたくさん学べたと筆者は言っています。熱心に、パワフルに活動している人もいます。それでもこの方がカルトに勧誘されたことを「被害」としていることに、内からカルト見た人の衝撃やショックの大きさを感じました。生きる上で何かに頼る事はもしかすると、不可欠なのかも知れません。それを悪いことだとは思いません。けれども、その頼った対象が誰かの思惑によって作り出されたまがいものだったとしたら、こんなに悲しい事はないと思います。カルトに関する広報活動の大切さ、そして身近な人にまっすぐに向き合える勇気を持つことの大切さを学びました。学部・4年

友好的な感じの人たちに声をかけられれば、少々の違和感や矛盾も気にしないのだと思う。食事やバレーなど日常的な事で勧誘されるので、引掛かりやすいのだと感じた。一度、カルトに入ると脱会するのが大変なので、十分気を付けていきたい。楽しいことや好奇心に満ちている大学生や若者は、カルトの信者からすれば格好の餌食だろう。公の場で、カルトに対する対処法の説明会など、十分な知識を得る事が必要ではないだろうか。

学部・2年

私は今までカルトと呼ばれる団体と関わったことは、恐らくありません。そのため、今回手記を読むまで、カルトというものの実態について知識がありませんでした。ただ単に「カルトに気をつけなさい」としか言われなかったからです。この手記を読んで、まず感じた事は「カルトって悪いものではないんだ」ということです。確かに教祖への信仰心が強いが故に周りが見えなくなってしまう。そのお陰で偏った考えを持つことになり、大切なものを失う事にもなりかねません。しかし、その人たちに悪気はなく、何かを信じずにはいられない想いや傷があるのだと思います。単に「カルトに入るな」という注意ではなく、自分をしっかり持つように、悩みを抱え込まない様に、そういう対応が大切ではないのかと感じました。学部・1年

カルトの勧誘に注意しましょうなどの言葉は聞くけれど、カルト団体の実態についての知識は全く持っていなかったのが新鮮でした。筆者が最初に声を掛けられたとき、親戚の合格発表を見にきた人なら、その子と引き合わせてくれたりしないのかなと疑問に思わなかったのだろうか。大学では幅広い年齢やバックグラウンドを持った人と知り合えるけど、友人と「今日こんなことがあって～」などと話している間に「それってあやしくない？」とか「なんか胡散臭くない？」と言ってもらえなかったのだろうか。新生活の始まりをきっかけに何か新しい事を始めたいなどと思わないでもないが、どこかで周りの友人らが注意できたらと思う。先生たちの呼びかけよりずっと効果があると思う。でも、宗教や信仰は悪いことではないし、あまりかかわる機会もないから怖いもの見たさみたいな感じで興味を引くこともあると思う。まさか、自分が信者になるとは思わないけどこの過信が実は危ないのではないだろうか。「人生について」などと言われても、単に哲学が好きな人なのかとか、自分の将来を真面目に考えている人なんだとか思って、話を聞いてしまいそうだし、「自分を変える」「世界を変える」という言葉は非常に前向きな言葉なので親しくなった人に言われたら乗ってしまいそうである。だから、興味を持つことは悪くないけれど、カルト以外の事でも1つの事に執着・没頭しすぎる事が悪いのだと思う。筆者は摂理が全てになり、摂理を否定されることをアイデンティティの崩壊と言うが、これは摂理だけに没頭してしまった結果である。他にも夢中になれるものがあれば、ここまで執着しなかっただろうから、やはり視野を広く持つことが必要だと思った。その為にもいろいろな人と関わる事が必要で、固定的な友人も必要だけどサークルの友人、学部の友人、ボランティアの友人など、と様々なかかわり方をして色々なことを話すのがいいと思う。

学部・2年

カルトの勧誘の仕方がすごく自然だと思いました。花見やバレーなどサークルと変わらないような活動から徐々に聖書などのカルトの活動に誘われるようになるので、今回手記のようなものをあらかじめ読むなど、カルトについて知識をもっておくことが大切だと感じました。また、カルトに関わってしまう人は、決して特別な人ではないのだとも思いました。手記にもあったように、カルトの人たちと仲良くなって一緒にいて楽しいと考えるようになることが、一番最初の始まり、それは誰にでも有りうることだと思っています。カルトについて具体的な情報を知ってもらう事が重要なのではないかと考えました。学部・2年

- ◆ 場所：一般教育棟 C棟1階
- ◆ 時間：10:00～12:00 月～金  
          :13:00～17:00 <祝祭日を除く>
- ◆ TEL:086-251-7169 <受付>  
          :086-251-7184/8458 <カウンセラー直通>
- ◆ メール：nayami@cc.okayama-u.ac.jp
- ◆ HP：<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/soudanindex.html>

### 学生相談室

平成21年8月発行

